

第4回地域審議会会議録

(敷島地区)

1. 日時

平成19年8月20日(月)

19:00～21:15

2. 場所

甲斐市敷島支所 2階：会議室B

1. 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 部長あいさつ

(4) 審議事項

1) 庁舎増築事業等整備について

2) 平成19年度重点プロジェクト事業等実施状況について

3) その他

(5) 閉会

2. 出欠席者

(1) 出席委員[8名] ※委員名簿は別紙

(2) 欠席委員[2名] 出澤委員、雨宮委員

(3) 事務局

伊藤企画部長、小澤企画課長

米山総務部長、藤田総務課長、総務課総務担当加々美リーダー

企画課総合政策担当・有泉リーダー、石合、宮川

敷島支所市民課庶務担当 飯沼リーダー

3. 審議事項議録

1) 庁舎増築事業等整備について

[総務部長]

総合計画の専門部会の答申を受け、また職員の検討委員会を経て、現在の北部公民館を取り壊し、新たに庁舎と公民館機能を兼ねた庁舎を増築し、敷島庁舎については新たに建設、双葉庁舎については耐震化を図るという方向の結論となった。今後、各団体や議会の代表の方たちにお願ひし検討委員会を立ち上げ、住民の意見を取り入れながら検討を行っていきたい。詳細については、総務課長より説明する。

[総務課長]

(資料を用いて説明)

[会長]

予算等を考慮し、北部公民館の建直しとなったようだが、地域への説明はどの程度考えているのか。

[総務課長]

3地区の自治会に説明を済ませた。北部公民館利用者団体にも、教育委員会を通じ説明を行っている。

[委員]

敷島、双葉庁舎の整備費用はどのくらいになるのか。

[総務課長]

すべて含めて概算 30 億。

[委員]

道路整備はどうなっているのか。

[総務部長]

駅周辺整備により立体交差点までは 22 年度完成予定となっている。バイパス以降は今のところ計画はないが、庁舎前へ右折レーンを設置する等の検討を行っていく。

[委員]

J Aのみどりで葬式があると、渋滞する。今後その辺りを含め検討願う。

[会長]

新設道路で前より以上に混んでいる。検討していただきたい。敷島庁舎の解体後の跡地利用はどう考えているか。

[総務部長]

支所新庁舎は、総合会館に隣接して建設予定。合併前からこの話しは出ていた。今の庁舎の跡地利用は、今後検討委員会で検討する。

[委員]

庁舎の件は、やむを得ないが、敷島は合併後良いことがない。夜 8 時となると真っ暗だ。どこに予算を使っているのか。合併後 3 年経つ。何とかしてほしい。

[総務部長]

敷島だけ取り残しているわけではない。竜王駅北口整備も目途がつき、防災公園も計画されている。財政状況も厳しいが、平等性をもって取り組んでいるのでご理解いただきたい。

[委員]

どこに格差があるのか、行政はチェックする必要がある。

[委員]

合併した時点で、本庁舎は竜王へという気はしていた。本庁舎の青写真はできているのか。

支所業務に変化はあるのか。

[総務課長]

具体的なことは、検討委員会で決めていく。

[総務部長]

支所にあつては「サービスは低下させない」という考えで竜王庁舎に増築する。

[委員]

竜王駅北口の整備と道路整備をぜひお願いする。

[会長]

駅の周りの整備と交通の緩和がされれば、竜王庁舎が本庁になっても敷島の人達は賛成してくれると思う。

[委員]

竜王庁舎の周りの道路も細い道。新庁舎建設の際、駐車場は十分か。

[総務課長]

駐車場の現状を調査し、庁舎検討委員会にて検討し、駐車スペースを確保していきたい。

[会長]

竜王庁舎の周辺道路の整備も必要。

[総務課長]

庁舎検討委員会で検討していく。

[委員]

庁舎の出入り口の整備も必要だと思う。

(総務部長、総務課長、総務課総務担当リーダー 退室)

2) 平成19年度重点プロジェクト事業等実施状況について

[会長]

それでは、重点プロジェクトから一括説明を。

[事務局]

(資料を用いて説明)

[会長]

何かご意見があればお願いしたい。

[委員]

健康祝い金についてだが、これまでどういう人達が審議してきたのか。

[企画部長]

議会の議決もいただいている。

[委員]

それは分かるが、健康な人はいいが、本当に困っている人に支給したほうが良いのではないのか。

[企画部長]

健康は自分で守るものであり、健康者に対するお礼の意味も込めている。敬老祝い金と同じに考えてもらっては困る。敬老祝い金は、合併時に敷島に合わせたが、その後県の方針と同じようにした。市ではタクシー助成等も行っている。

[委員]

健康祝い金は、申請をしなければ支給されないのか。調査等は行っているのか。

[企画部長]

調査はレセプト等、担当でしていると思う。広報等でPRも行っている。

[委員]

民生委員はPR等、何かしているのか。

[委員]

行政から通知がいつているので、民生委員は特にPRはしていない。

[事務局]

対象者に市から通知がいつていて、返信する形になっている。その後担当で調査を行っている。

[委員]

私は通知を受けているのでわかっているが、「弱者を対象にした支給制度を」という意見もあるので承知してほしい。

[企画部長]

所管課には報告させてもらおう。

[委員]

ちなみに県の健康祝い金はどのくらいもらえるのか。

[企画部長]

健康祝い金は甲斐市独自。

[委員]

この改正で、もらえる人が少なくなった。

[企画部長]

この祝い金の件では、いろいろなご意見があった。行革、財政計画を含めご理解いただきたい。

[会長]

啓発活動は必要である。

[委員]

市から通知はいつている。

[委員]

自主防災の件だが、事業申請している地区は組織化されているのか。

[会長]

全地区、自主防災組織はある。

[委員]

全地区に補助は出るということか。

[企画部長]

自治会区で申請しないと対象とならない。

[委員]

申請書は区長がわかっている。

[委員]

防災倉庫だが、何も使っていないところがある。

[会長]

防災倉庫によっては、市で設置したものと区で設置したものがあり、地域によって多少の違いはある。

[委員]

合併時、市民に不便をきたさないよう一局集中は避けようという考えであったはず。死亡事故が起きた場所が改善されていない。

[企画部長]

市道等の危険箇所については、区から申請があれば担当が見に行っているはず。しかし、道交法の関係で市では手がつけれないものもある。ただし、市で見に行っているということであれば行政には説明責任がある。明日、担当課に確認し早急に回答する。

[会長]

関連で近況を話す。その道路については、役場西に並行して、金石橋まで新設道路ができる。古い道はそのまま残る。県で既に関収を行いH19年度から着工し、H22年度には完成する予定。

[企画部長]

県ということであれば、市から道路管理者に話しはしていると思う。立ち会った方には市から説明責任があるので、確認し回答する。

[会長]

自主防災組織補助は今年度のみか。

[企画部長]

担当課に確認し、協議願う。

[委員]

声として聞いてほしい。民生委員についてだが、委員になるときは、あまり積極的になる方はいないが、委員になれば、皆一生懸命取り組んでいる。ところが敷島は72歳、竜王は70歳で辞めてもらおうと、行政から一方的に言われた。理由は竜王がそうだからとのこと。議会で審議したり、民生委員も含めて話したのか。前に聞いてみたが、そういったことはなかったようだ。

[企画部長]

民生委員の推薦は、自治会長等さまざまな方たちに入ってもらって決めている。市長が入っているわけではない。

[会長]

推薦委員会は各団体の長が入っている。あくまで推薦のみ。ただし65歳を超えると推薦はできない。高齢者で意欲があるのに年齢制限するというのが、どこから出ているかはわからない。

[委員]

高齢者は意欲がある。それを意見としてとどめてほしい。

[会長]

クラインガルテンは好評。増やす計画はあるのか。

[企画部長]

今のところはない。補助金をもらって行った。今回の50棟で一応区切りとなる。ここを拠点に農業振興を図ってもらいたい。今後の農業政策と合わせ考えていきたい。

[会長]

クラインガルテンのクラブハウスには直売もあり、農業振興のため活用してもらいたい。また、5年ほど前、清川陸沢での集中豪雨で道路が決壊してしまい、清川の人達の身動きがとれなくなってしまった経過もある。こういったことに備えどこか抜け道も必要だ。防災の面から

も北部活性化のため取り組みをお願いしたい。

[企画部長]

防災マップの策定委員会のなかで話してもらおうとありがたい。

[会長]

策定委員会の中でも話したが、企画からもお願いしたい。

[委員]

甲斐市の統一イベントだが、毎年航空学園なのか。高齢者は遠くてなかなか行けないと思う。地域の活性化ということから考えると、旧町でなにかひとつイベントがあってもいいと思う。

[事務局]

イベントの統合は、合併時からの問題。統一的発展的観点で進められてきた。駐車場の問題やシャトルバスの輸送能力の限界等を考慮し、航空学園に決まった。梅の里ふれあいまつりについては、地元で盛り上げていってもらいたい。

[委員]

地元が努力することも必要だ。

[会長]

遠くへ出て行った人ほど、ふるさとを思う気持ちが高揚する。苦しさにつけ、悲しさにつけ思うのはふるさと、親である。ふるさとの文化等、取り上げられてしまえば、誰も帰ってこなくなってしまう。財政が厳しいと言うが、疑問に思うのは、国からきた資金はどこにいつてしまうのか。納得できない面もある。いずれにしても、地元の人達が努力し、行政に後押ししてもらいたい。